

Outline

Introduction to Media Studies

- Orientation
 - Rules/requirements/prerequisite for this course
 - Evaluation/objectives (explaining purpose of this course, then skills.knowledge you can get out this class types)
 - The procedure of this course (we will spend our time on this to make sure you all follow)
- Others

Outline

Introduction to Media Studies

- オリエンテーション
 - 授業を受講する上での注意事項
 - 評価方法/到達目標
 - 秋学期すすめ方
- その他、一部グループ調整

目的

目的

(変えるとかいったけれど、事情によりそのまま)

英語で学ぶメディア論・メディア論で学ぶ英語
ゼミ

英語能力を現在よりもあげつつ、メディア論に
関係した内容を日英、両言語で学ぶ

メディア論に関わる理論を学びながら、情報を
いかにして共有していくのかを学ぶ

メディア学科で学ぶためのスキルを向上させ、
学科生として他の学修に応用するための知
識・技能を習得

クリティカル・シンキングスキル（批判的思考
能力って訳されてるやつ）を向上させ、一生涯
学びつづける生涯学習者としての基礎をみにつ
ける



學習到達目標

学習到達目標

-メディア研究における重要な問題や抽象的な考え方を日英双方の言語で理解することができるようになる。

-メディアに関係する情報を収集、評価し、他人にわかりやすく説明できるようになる、あるいは情報を発信できるようになる。

-少なくとも日常生活におけるメディアの影響について自覚できるようになり、自分がどう行動するべきか考えられるようになる。

-メディア研究の基礎的な知識を学び、メディア分野の問題について日本語と英語で議論することができる。

-本ゼミで得た知識をもとに、本ゼミ終了後生涯学習者となる素養を身につける。



学習到達目標（実際には）

-メディア研究における重要な問題や抽象的な考え方を日英双方の言語で理解することができるようになる。

→ なんとなく理解するところまでいく

-メディアに関する情報を収集、評価し、他人にわかりやすく説明できるようになる、あるいは情報を発信できるようになる。

→ 多分思うようにできない。なんとなくできたらOK

-少なくとも日常生活におけるメディアの影響について自覚できるようになり、自分がどう行動するべきか考えられるようになる。

→ これは絶対できてほしい。言語は関係ない

-メディア研究の基礎的な知識を学び、メディア分野の問題について日本語と英語で議論することができる。

→ メディア分野について日本語で説明できるようになることを目指そう。英語はできたらいいね。自信がある人は今よりも上を目指す

-本ゼミで得た知識をもとに、本ゼミ終了後生涯学習者となる素養を身につける。

→ これは達成してほしい。これは既に英語ができるかどうかとは関係ない



評価方法

評価方法

- 総合評価は東洋大学の成績評価基準に従う。
- 出席、授業参加貢献度、意欲、プレゼン 35 %
- ゼミレポートまたはメディア・コンテンツ作成など 25 %.
- ゼミ外学習 30 % 具体的にはリフレクションや準備など（この辺は、提出物の有無、授業内の様子/提出物の内容で先生が判断。基本、上記のレポートなどが25%ができていれば、こちらでも最低25%は得られる)
- その他 10 %

評価方法

- 出席は点呼でする（名前覚えるため。あと名前で呼ばれたほうが心理的にプラスの効果があるといわれてるといものをきいた。）
- 参加度などは、Toyonet-aceのアクセス履歴/リフレクションなども含む
- 英語訓練の回のことに行う発表やグループ活動については別途評価基準を説明。基本的に真面目に勉強していれば問題はない

授業のすすめ方

PROCEDURES/RULES

ゼミの進め方

- 基本は提示した動画資料を選び内容を理解し、期末発表の準備をする
- 英語に関して。くじで順番を決め、その順に先生がグループに混じって英語で反応できるようにするための訓練を先生とグループでする。
- 英語の訓練をしていないところは、動画資料を見て発表の準備をする/指示された作業などをする
- 中間で一回、日本語で発表練習する
- 期末ごろに向けて英語にしていく

リフレクシヨン

リフレクションの評価方法

- 作成すれば、それだけで可
- リフレクションは自学自習用
- 最終成績に加味調整する

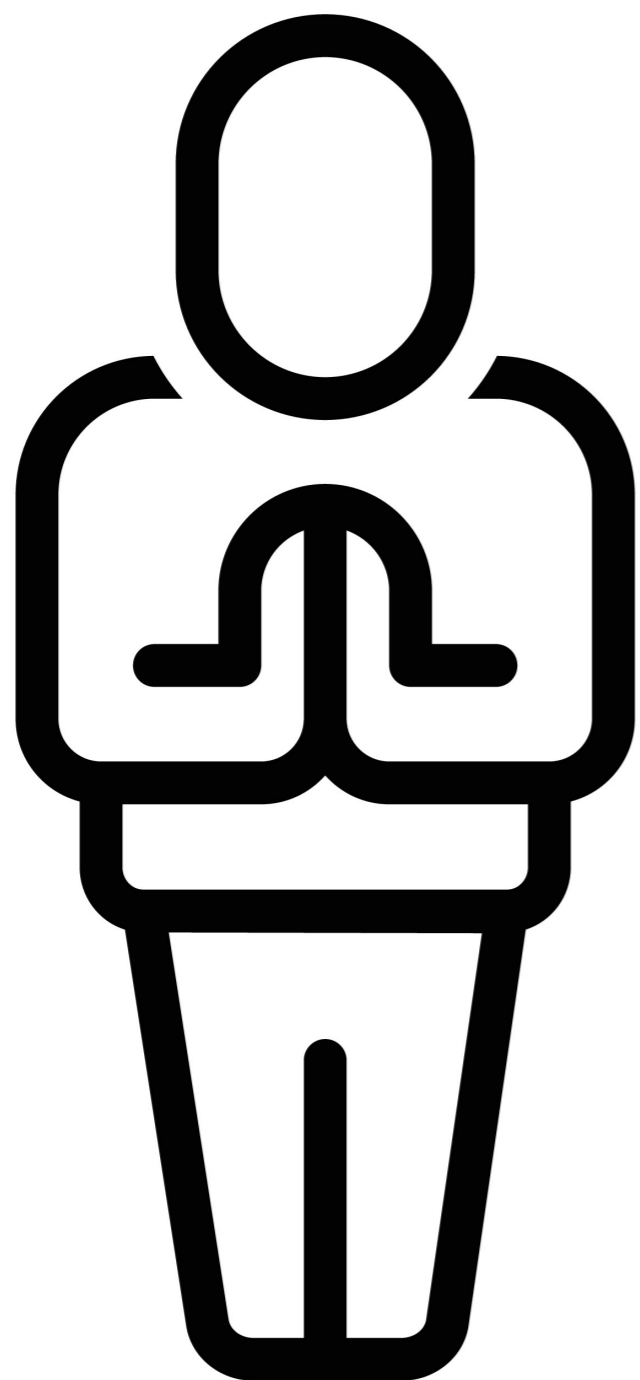
リフレクションの提出方法

- 締切日までに提出（3週間おき）
- 本ゼミに関して授業外で実施した取り組み、省察を入力する
- 授業用ページからアクセス。

個人期末課題

個人期末課題

- 基本は研究レポート。レポートが嫌であれば春学期最後に配布した「演習の方針」に書いた内容とほぼ同じにしますが、そこから選択する形にします
- 詳細は、授業サイトを更新するので、更新されたら即確認
- 中間ごろに個別面談を実施する形にするので、そこで進捗状況を報告する形にする（課題が進んでいない場合も含め、ゼミで単位がとれるように仕向けるために、そこでどうしていくか考える場にする）



先生からの
お願い

先生からのお願い

- Yes/no系の質問などを先生が投げたら、声出せなくてもせめて頷く、顔を横にふるなど、反応は示してもらいたい
- わからないことがあるのであれば、あとからではなく、先生の話しを遮って構わないので確認すること
- 最低限、わからないことをわからないままにしない

先生からのお願い

- 対話が大事なので、先生はそれを尊重したい。無言、無表情で無視はなしにしてほしい
- 挙手などして先生が気づいてなさそうだったら、先生とか、シガキーとかなんでもいいから声を出す
- テーマを指定されて、ディスカッションすることになったら「黙る」「何もしない」ということはしない（ゼミではちょっとした雑談はOkayにはする。）

先生も人間

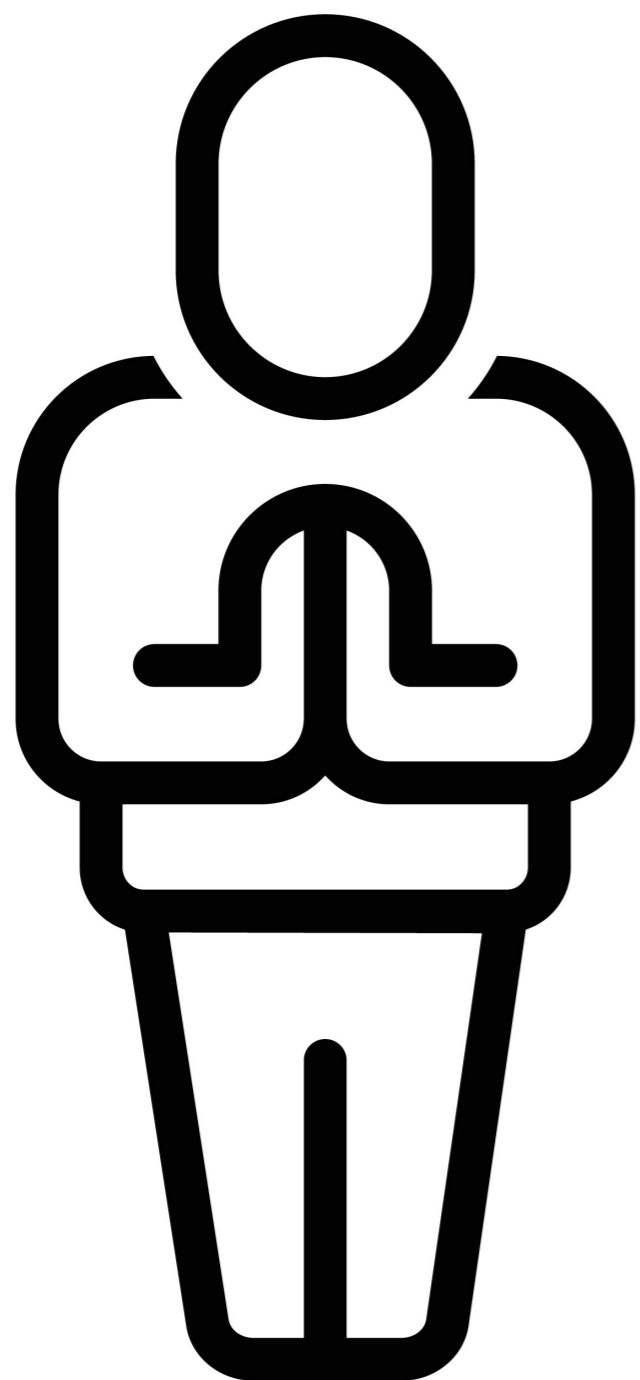
- ゼミ、演習、講義、全て先生だけでなりたってるわけではないので、よい学習環境にするための努力はお互いしよう。
- 授業態度が悪いと、先生の授業へのやる気がどうしても低下するので、本授業には真摯に参加してほしい（お互い様だけれど）。
- 大学は研究（勉強）するところなので、勉強がいやであれば、教室から出て意味の見いだせることに時間つかって。先生だったら、退学して金稼ぐことに時間使う。

授業態度: 先生が耐えられないライン

- 堂々と大遅刻、何事もなかったのように先生の話している目の前を
通って入出（遅刻厳禁。遅刻やぞーと言われてそれにジョークで
反応するのはまだまし）
- 終始授業で寝る（あとから先生の話がつまらなすぎと文句つける。
気持ちはわかるが、寝てながらそれを指摘すると文句つける）
- 課題提出など色々遅れたりしているのに、なぜ受け付けない、あなた
自身もフィードバックが遅れてるくせにとつっぱねる
- 見え透いた嘘をつく（欠席に関して、公欠でないかぎり、どの理由
であれ自動的に欠席になるので、何回もおばあさんがなくなりました
とか言わなくていい）
- Responの番号を遅刻してきた友人に教えるなど、ずるをする（で
きる仕組みなのだけれど。全員への信頼度が落ちる）

授業態度: 先生が耐えられないライン

- 小手先で済ませようとした結果、先生が気づいて指摘すると逆ギレする。あるいはこちらの怒りを抑えないといけないくらい適当に課題をしていて、期限もだいぶ過ぎてるのに提出してくる
- ネガティブ言うなと先生には授業評価などで言うものの、実際ネットでも学内でも自分達でボロクソ言う（他大学で経験。人間だから仕方ないけど。）
- 欠席回数が5回か6回かなどを確認をしてくる。ケース1、確認の理由: 期末課題をするかしないか決めるため。落ちるんだったら期末したくないからとのこと
- 無視、無反応、最終指名せざるをえず指名しても無視



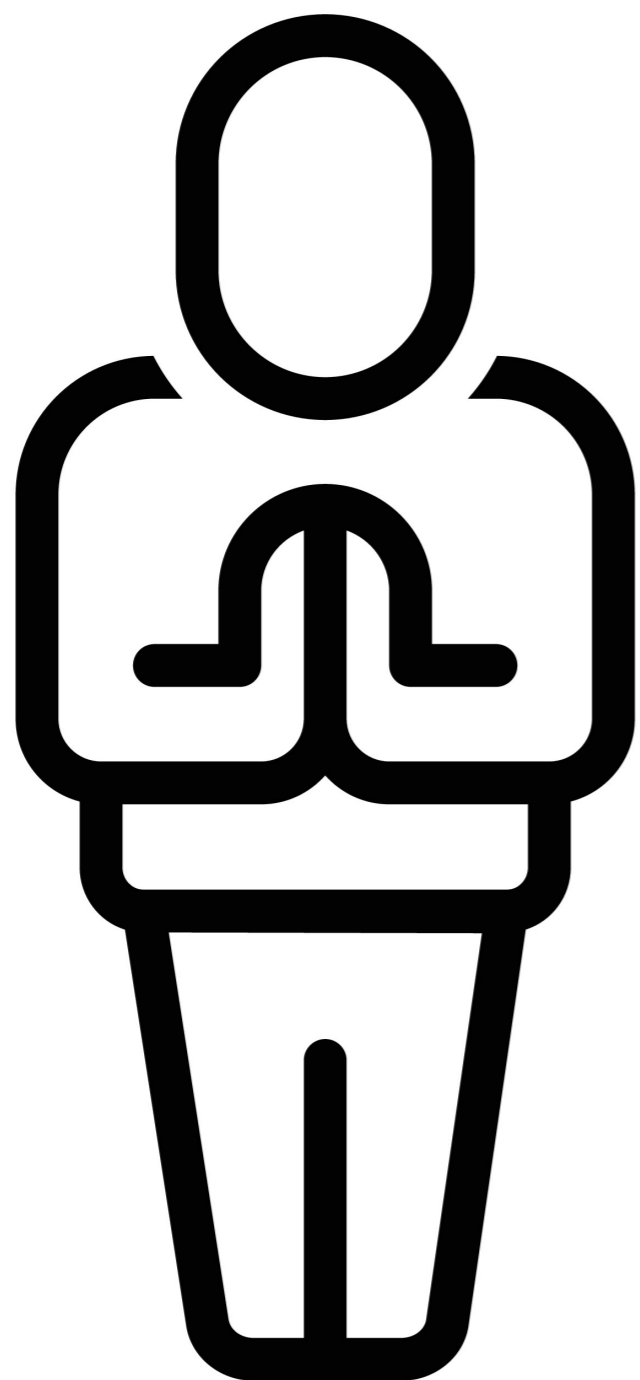
お願いして
ばかりだけど...

以下は約束する

- よりよい学習環境を整える努力はする
- 興味が持てるように話をする努力する。ただ、お笑い芸人、司会者ではないので期待はしないで。
- 好き嫌いに関係なく先生は話しは一旦聞く。どういう状況であれ話は聞く。そのため何かあれば必ず確認できる環境を整える。
- 課題の量など状況に応じて柔軟に対応する
- 限界はあるけれど、意味の見いだせる授業にはしたい

先生も人間

- 趣味見せたのは多趣味といいたいのではなく、こっちもあなた達と同じようにやりたいこといっぱいある。実は、このアカデミア界隈が大好きというタイプじゃない。
- 先生も何故大学の先生になれたのか、実はわからない。ただ、教えるのも研究も大事な仕事だと思っている
- 先生も昔はあなた達と同じ学生。もしかしたらあなた達より無知蒙昧だった（今もかも）
- 大学の講義が面白くない時があるのはわかる。（先生の場合は、質問や対話があれば、講義は一方的でなくなる）
- こうしてほしい、ああしてほしい、そういうのもあるのはわかる。
- めんどくさいことが多いのもわかる



先生からの
お願い聞いて

予習

- 1.授業用サイトを来週までに更新するので、Toyonetaceでアナウンスあったら確認する
- 2.個人課題（レポートまたはコンテンツ制作への指示がある場合は、それをチェック、作業を開始する）
- 3.グループ作業用の準備への指示を出すので、指示があり次第準備開始、ゼミ内で作業が進められるようにしておく
- 4.英語の自学自習、語学の自学自習
- 5.色々なニュース、ドキュメンタリー、本、雑誌、漫画、ネットで情報を得る。興味がありそうなものは可能な範囲で深掘り

**別の課題: 締め切りは追って指示。予定では
3回目のゼミの日 23:59分**

夏休みの課題提出準備